

実務経歴書

[記入注意] この実務経歴書は勤務先(自営業を含む。)毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

<p>私は、二級木造 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。 令和〇〇年〇〇月〇〇日</p>			
氏名 建築 士郎			
長崎県指定登録機関 一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様			
勤務先等			
勤務先(部課名まで)		所在地(番地まで)	
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	
		在職期間の合計	
		年月～年月	
		年月数	
R2年4月～R4年10月		2年7月	
在職期間		地位職名	
年月～年月		年月数	
R2年10月～R4年9月		2年0月	
		建築実務の内容(建築士法施行規則第10条)	
		1枚目	
建築実務の詳細		建築実務経験期間の合計	
		2年0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	〇〇事務所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)		
事務所ビル(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。			
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	〇〇小学校	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)		
小学校(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面タンメン計画等の作成補助を、実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当した。			
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	〇〇病院	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)		
病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計と条件の整理を担当した。			
※経由庁(機関)記載欄		※登録機関記載欄	

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
(6)	対象物件の名称等	2枚目		建築実務経験期間	
				年月～年月	建築実務の割合
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
※經由庁(機関)記載欄					

実務経歴書の2枚目の下の余白部分に、申請者は会社が倒産した旨を記入します。

※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。